



会津の建設業に携わる女性の意見交換をはじめました

会津若松建設事務所  
建築住宅課  
主任建築技師  
松浦ヒサ子

1. 背景及び目的

建設業は、社会基盤整備を始め地域の安全・安心を支えています。特に、災害等の緊急時においては、復旧の最前線においてライフライン確保等の重要な役割を担い、県民の日常生活に不可欠な業界です。東日本大震災においても、警察や自衛隊と共に啓開作業等を行いました。

しかしながら、そうした対応が適正な評価にはつながらず、業界の人手不足も深刻化しています。また、建設業界の将来を担う若い世代の就業も滞っている状況です。

このため、平成26年5月に福島県建設業協会若松支部・宮下支部の若手経営者等と福島県会津若松建設事務所が共同で「Change! どぼく実行委員会」を設立し、建設業の適正な評価に向けた取組みを進めているところです。そこで、これらを女性の視点で検証・分析し改善点を提案していくことを目的として、「女性技術者等による会」を平成26年9月に発足させました。



2. 取り組み実績

《メンバー》

- ・ 建設業協会 若松支部・宮下支部の女性技術者等
- ・ 会津若松建設事務所の女性技師

《活動実績》

- ・ 会議3回、現場見学会および意見交換会1回
- ・ どぼくカフェへの参加 等

《会議》



職場の現状や改善してほしい点、建設業の魅力伝える方法等について話し合いました。

## 《意見交換会》



地元工業高校生を対象に建設業のイメージやインターンシップを体験した感想、進路相談などを議題に意見交換をしました。

### ～意見交換会アンケート結果～

#### ★高校生より

- ・インターンシップを体験して役に立ったので、今後も継続したほうが良い。
- ・建設業に興味を持った。
- ・福島県の復興に貢献したい。

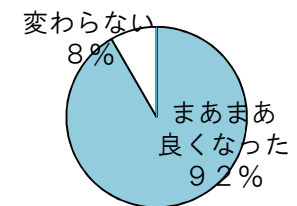
## 《現場見学会》



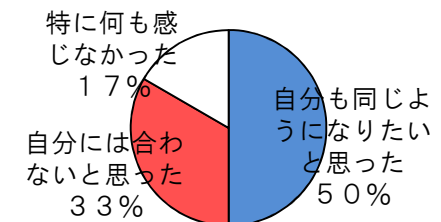
地元工業高校の女子生徒を対象に会津美Ladyが担当する現場で見学会を実施しました。

### ～現場見学会アンケート結果～

Q) 土木工事や建築工事のイメージは変化しましたか？



Q) 現場で働く女性の姿を見て、どのように思いましたか？



## 3. おわりに

建設業という女性の少ない職場において、同じ地域で活躍している女性と知り合いになり、意見や情報の交換を始めました。女性同士ならではのフランクな会話からいろいろな意見が出ています。

今後もChange!どぼく実行委員会とともに会議やイベントを続け、会津から建設業を変えることができればと思います。